

赤：バスロータリー（1階レベル）

大型バスの待機1台+乗降1台程度と、待合スペースが必要。転回スペースも十分に確保する。また歩道・車道との見通しに配慮して計画する。バスの進入のために必要な高さを確保する。

緑：保全する緑地・法面

最大限、自然な地形と緑地をのこして、景観への配慮をする。

コート周縁部：ドライエリア（からぼり）

できるだけドライエリアを確保し、採光、通風、排煙（火災時）に配慮する。

青：駐輪場（1階レベル）

防犯に配慮し、カメラや係員配置も検討する。どこが空いているのか判りやすい表示システムも採用検討が必要。1300台駐輪想定。

紫：駐車場（2階レベル）

現存の斜路を利用して出入。55台駐車想定。

橙：テニスコート（3階=現状レベル）

現状ある3面分を確保する。

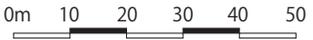


図3. 理学研究科前バスロータリー・駐輪場・駐車場合築計画案図

別紙比較表
A案